



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲ 注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注 意

- 組立て後の製品重量は最大で約40kg(枠)、約160kg(障子)になりますので取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- サッシ下枠が垂下がり、障子脱落のおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・障子建込み前に、下枠取付け受け材(窓台)の下枠室内側ブラケット両脇を土台に30mm以上かかる長いねじ(別途)で固定してください。(本文中の図参照)
 - ・上下枠室外側固定フィンおよび下枠室外側ブラケットを外側躯体とのすき間がないように丸木ねじで固定した後に下枠室内側ブラケットを丸木ねじで固定してください。(本文中の図参照)
 - ・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
 - ・必ず指定の木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
- 漏水の原因となるおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。障子収納部も外壁仕上げと同様に防水施工・外壁仕上げをしてください。(本文中の図参照)
 - ・下枠前面には水抜き穴がありますのでふさがないでください。
 - ・浴室には使用しないでください。

■取付け上のおお願い

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。
樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。

■下枠養生材の取付け上のおお願い

- 障子建込み前、開口部の下枠に取付けてください。
- キズの原因になりますので、必ず清掃してから取付けてください。
- つぎ目(特にレール部分)や端部およびカット部分には、下枠養生材に浮き上がりを出さないでください。障子開閉時に、下枠養生材と障子が干渉して下枠養生材が外れるおそれがあります。また、浮いたすき間より砂などが入り、キズの原因にもなります。
- 取付け後、障子開閉時に下枠養生材の引っ掛かりなどがある場合は、下枠養生材が外れるおそれがありますので戸車を調整してください。
- 取付け完了後、施主様引き渡し前に下枠養生材を外して、サッシの最終調整をしてください。

■取付けねじ一覧表

㊦	㊧	㊨	㊩
薄平木ねじφ3.1×32	丸木ねじφ3.5×25 (下枠室内側ブラケット部)	皿木ねじφ3.1×20 (アングル部)	薄平小ねじM4×5 (網戸アタッチメント)

●外れ止め部品セット

㊰	㊱	㊲
外れ止め	スペーサー(2枚)	トラスタッピンねじ (3種)φ4×18

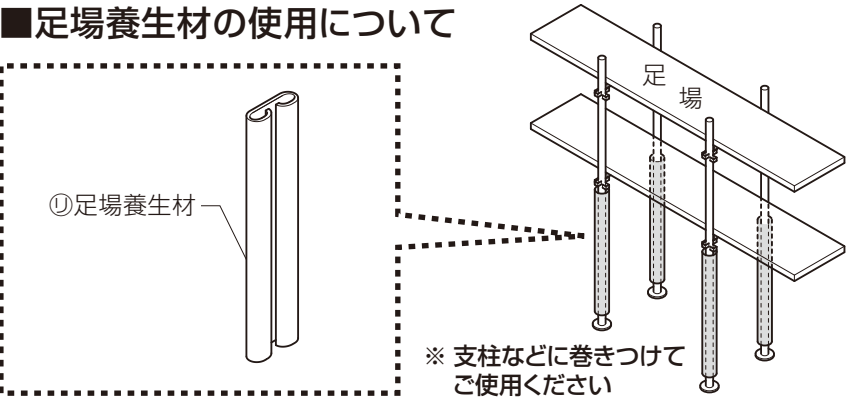
●交換用ストッパーセット

㊳	㊴	㊵	㊶
同梱:800mm×2 下枠養生材	同梱:1700mm×2 足場養生材	上枠ストッパー	下枠ストッパー

■取付け前に

●本製品には枠の取付け、障子の建込み時の損傷を低減するために「足場養生材」を同梱しています。足場の支柱などに巻きつけてご使用ください。

■足場養生材の使用について



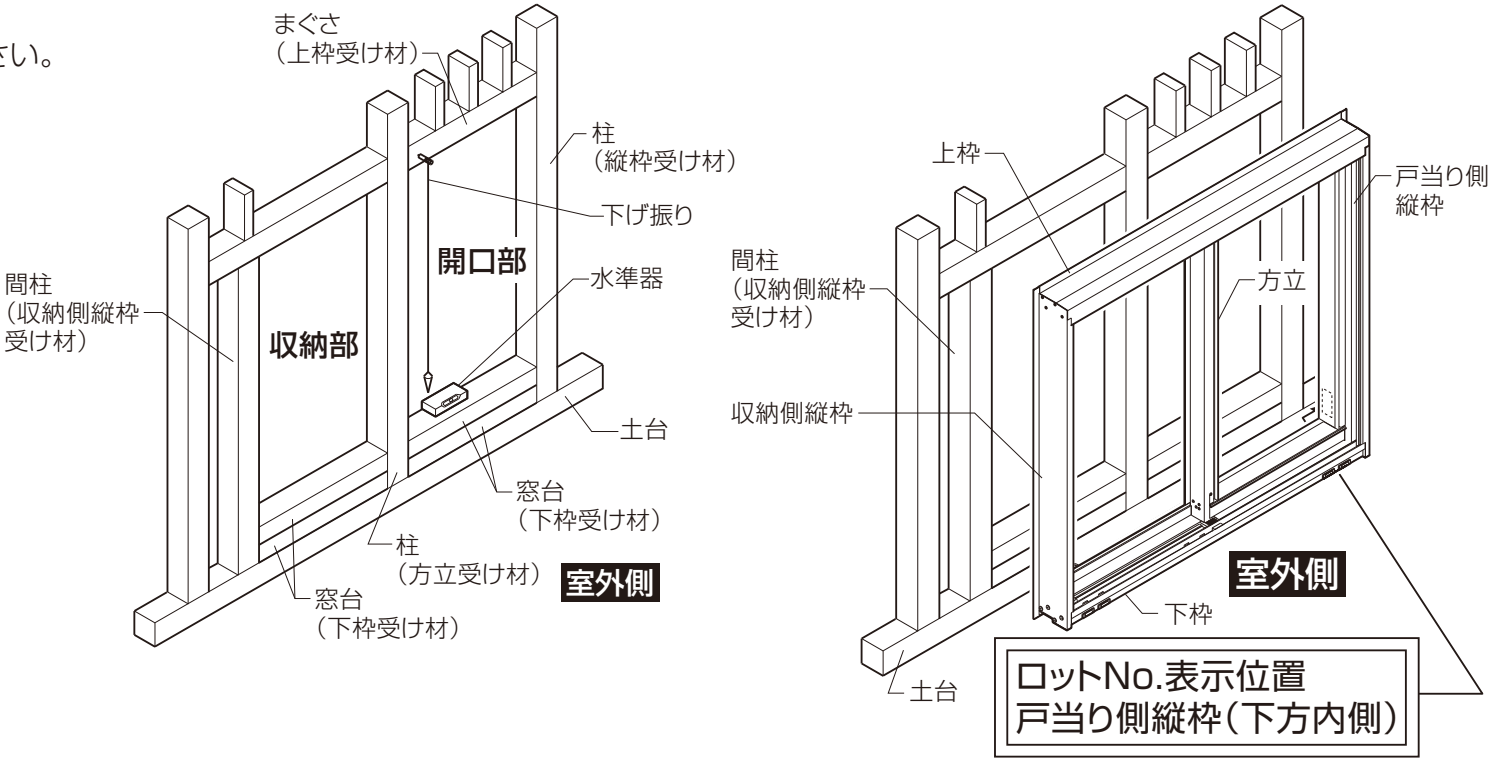
■枠の取付け

1 枠の固定

※開口部の水平・垂直の確認をしてください。

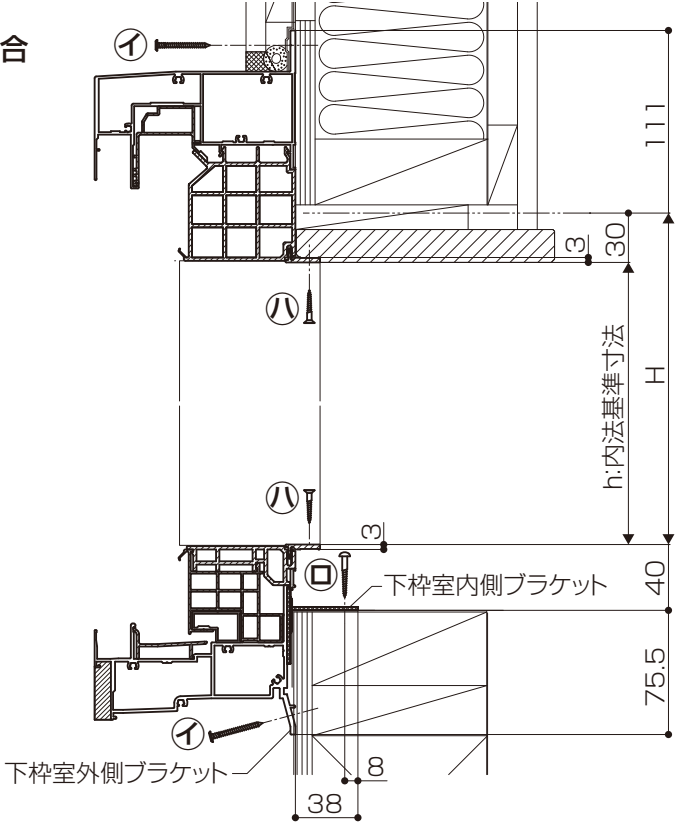
1 サッシ取付け前の開口づくり

●サッシ枠固定ねじがくる位置に受け材(まぐさ・窓台・柱・間柱)を設置してください。
※窓台は開口部に通して入れてください。



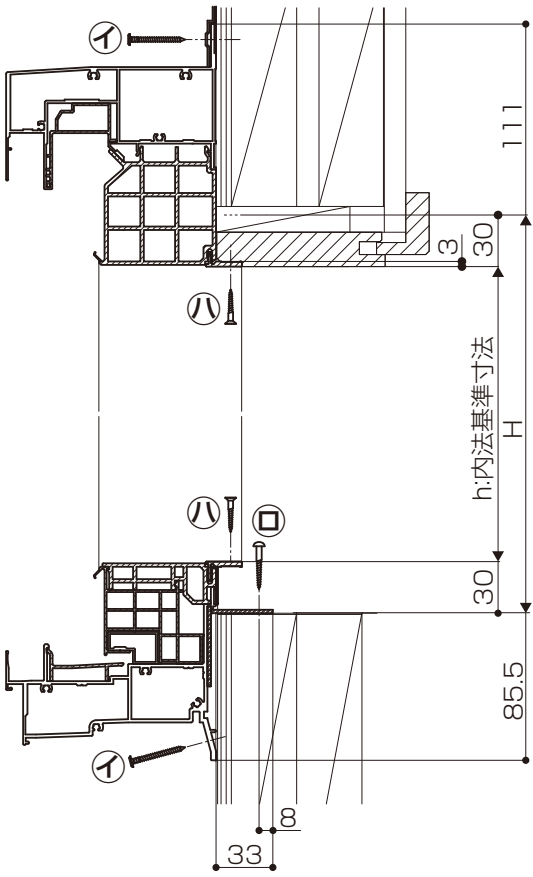
【縦断面図】

■在来の場合
●開口部

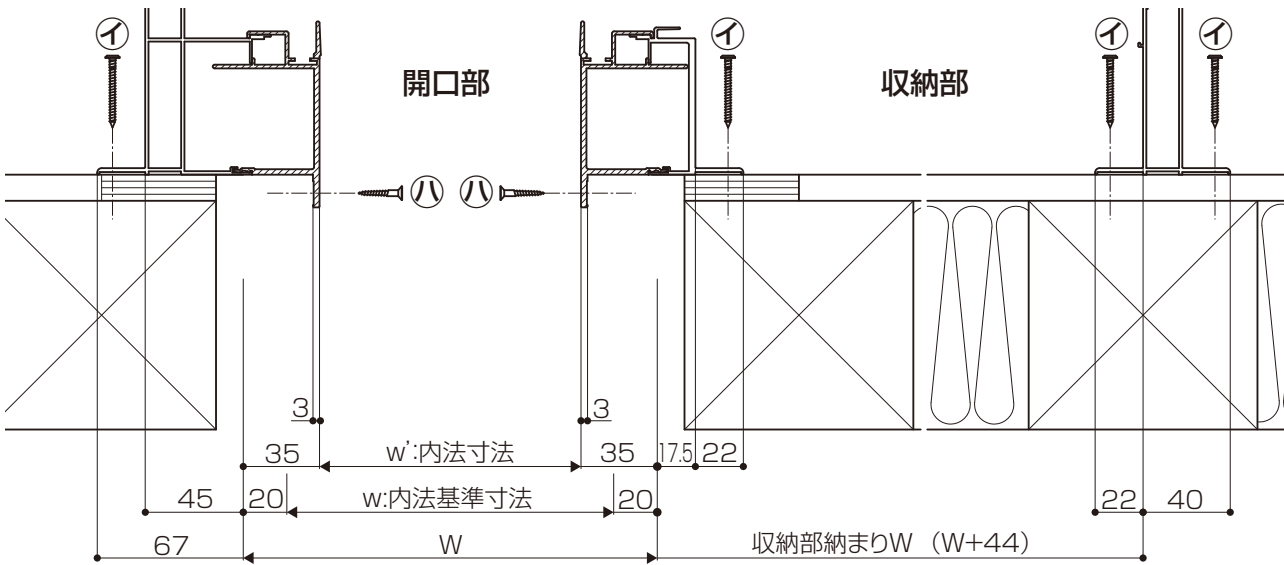


【縦断面図】

■204単純段差の場合
●開口部

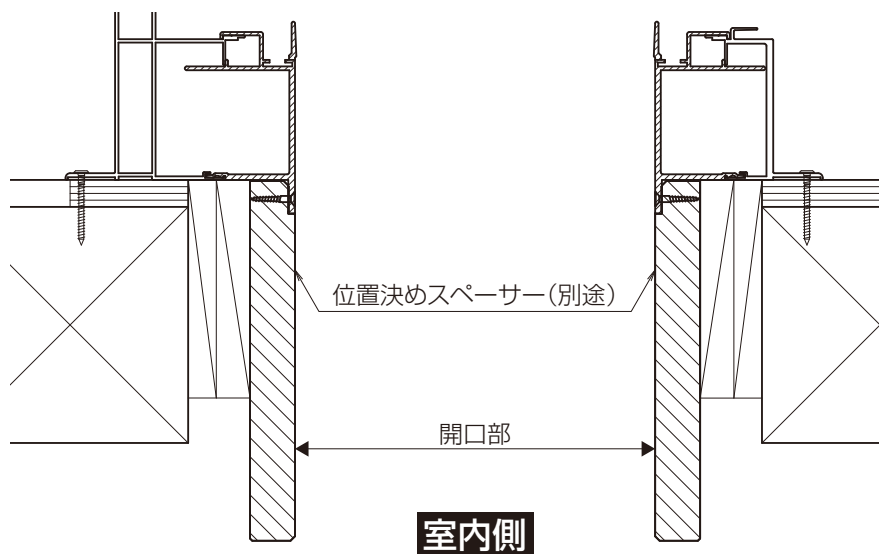


【横断面図】



2 サッシ枠の固定

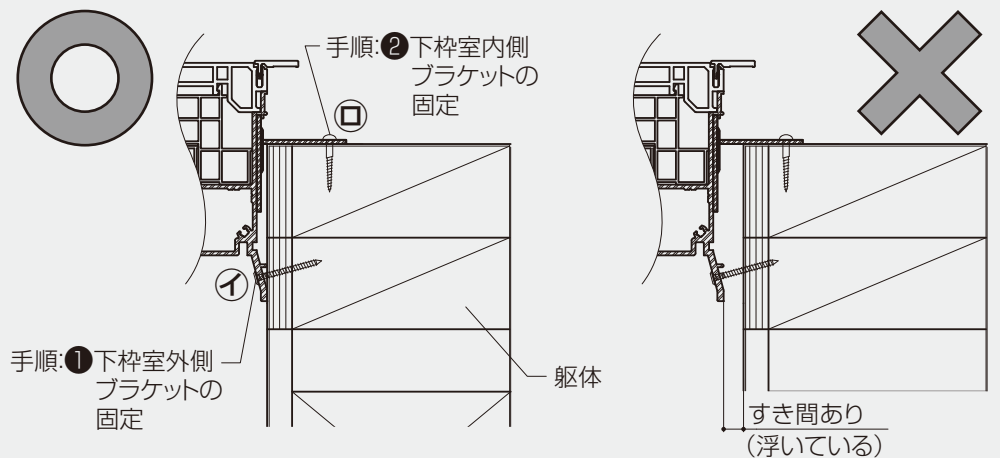
- 左右の位置決めをする際には、あらかじめ額縁が納まるスペースが確保されるように額縁の小片などの位置決めスペーサー（別途）を使用するなどして、左右の位置決めをして枠を固定してください。
- ※①皿木ねじφ3.1×20は額縁・床を施工後、取付けます。



■下枠の固定

⚠ 注意

- 上下枠室外側固定フィンおよび下枠室外側ブラケットを外側躯体とのすき間がないように丸木ねじで固定した後に、下枠室内側ブラケットを丸木ねじで固定してください。
サッシ下枠が垂下がり、障子脱落のおそれがあります。

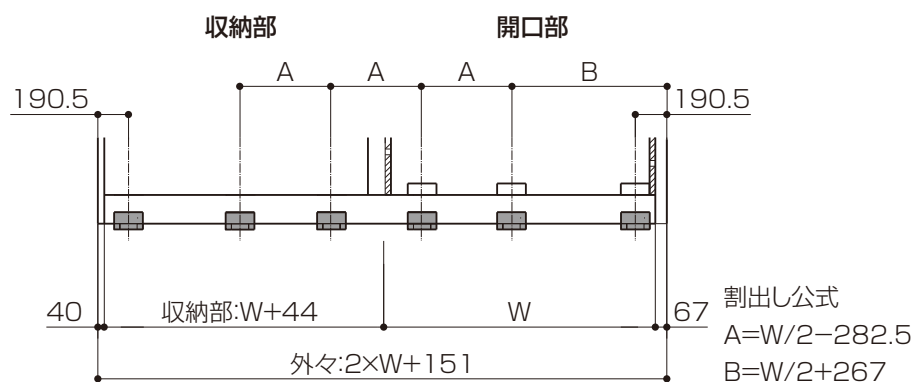


【下枠室外側・室内側ブラケットの取付け位置略図】

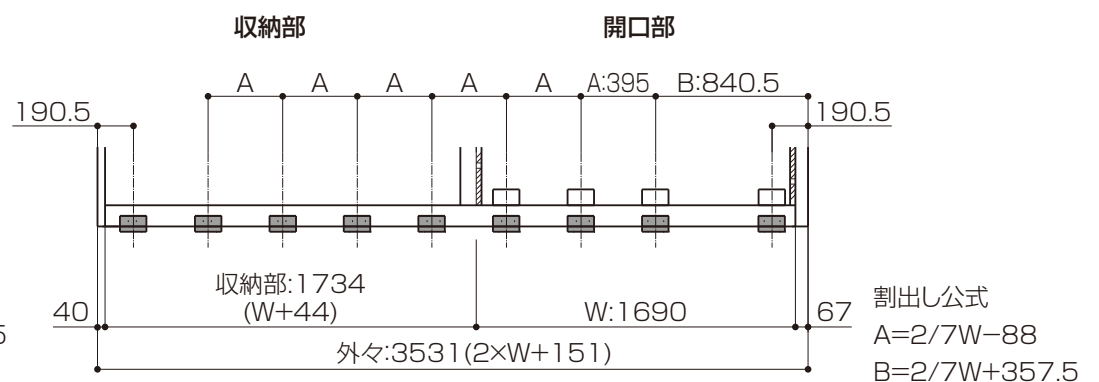
※下図取付け位置略図の■は下枠室外側ブラケット、□は下枠室内側ブラケットを示す。

■左勝手(L) (右勝手(R)の場合は対称)

●W<1542の場合



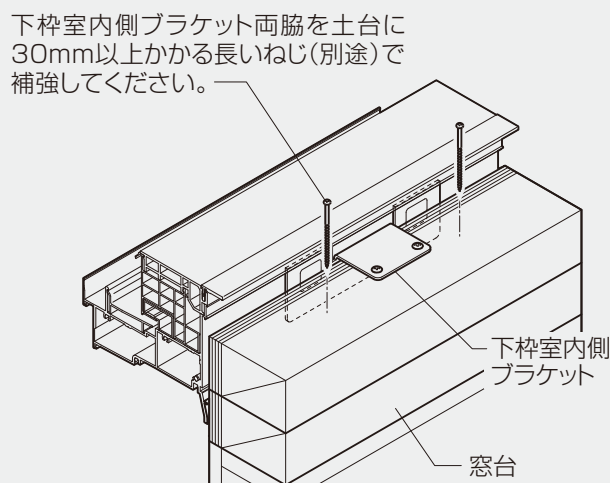
●W≥1542の場合 (図中の寸法はW=1690の場合を示す)



■サッシ枠取付け後の躯体補強

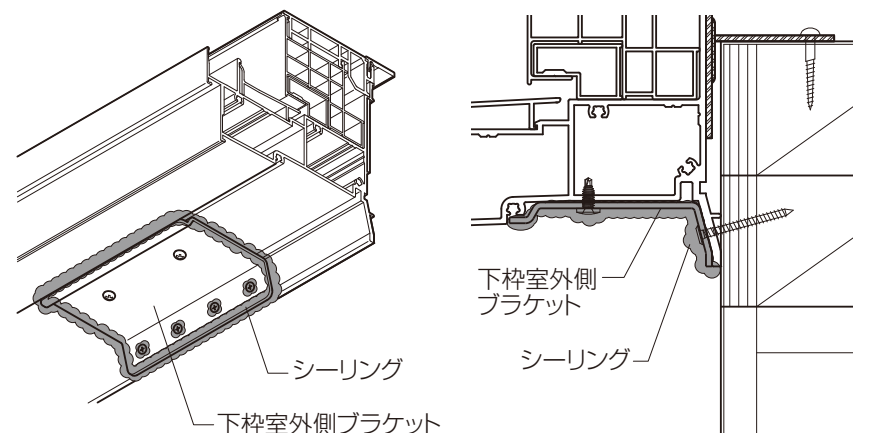
⚠ 注意

- 障子建込み前に、下枠取付け受け材(窓台)の下枠室内側ブラケット両脇を土台に30mm以上かかる長いねじ(別途)で固定してください。
サッシ下枠が垂下がり、障子脱落のおそれがあります。



■ブラケット周りのシーリング

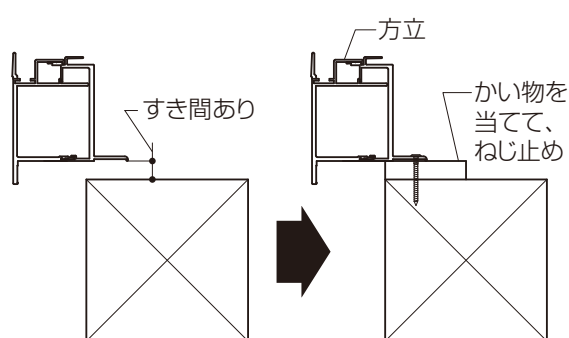
- 下枠の下を外壁仕上げしない場合(2階のバルコニーに取付けされる場合など)には下枠室外側ブラケットの周りとねじ部にシーリング(防水処理)をしてください。



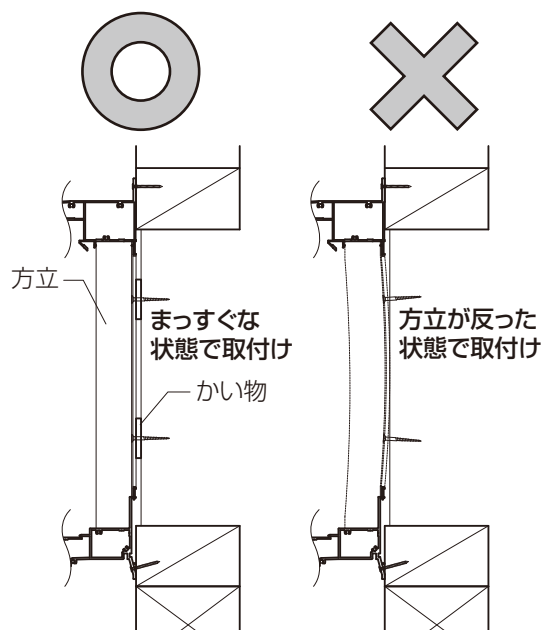
■方立部の固定

お願い

- ※躯体と方立の間にすき間が発生している場合は必ずかい物などをあてて、方立が反らないように固定してください。障子開閉時に煙返し部がぶつかって閉まらなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。



- 取付け後の方立のソリは1.5mm以下にしてください。



■サッシ枠周りおよび収納部の防水テープの張付け

⚠ 注意

- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。障子収納部も外壁仕上げと同様に防水施工・外壁仕上げをしてください。
漏水の原因となるおそれがあります。



■縦枠・上枠の固定

■障子の建込み

1 事前確認

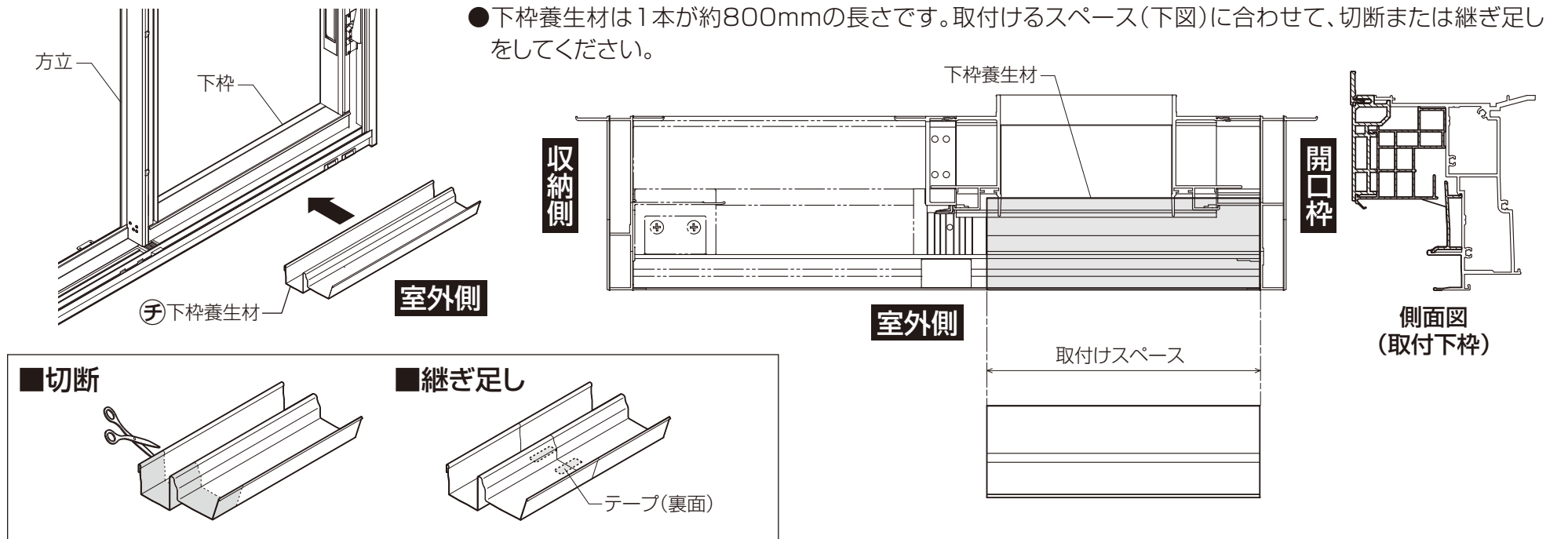
- 障子の建込み、取外しは室外側からしかできませんので施工中の足場と取付け済みサッシ枠との間に障子を建込むためのスペース(障子を持って人が通れるスペースと人員)が確保できることをあらかじめ確認してください。

2 前作業

- 枠取付け後、障子を建込む前に、下枠レール(収納部を含む)の清掃を行ってください。

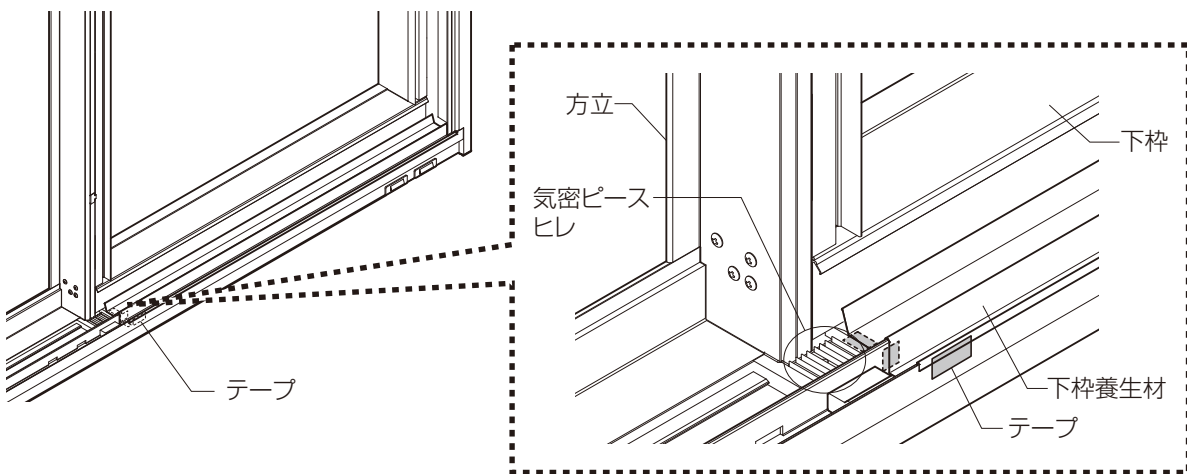
●下枠養生材の使用について

1 位置決め・切断

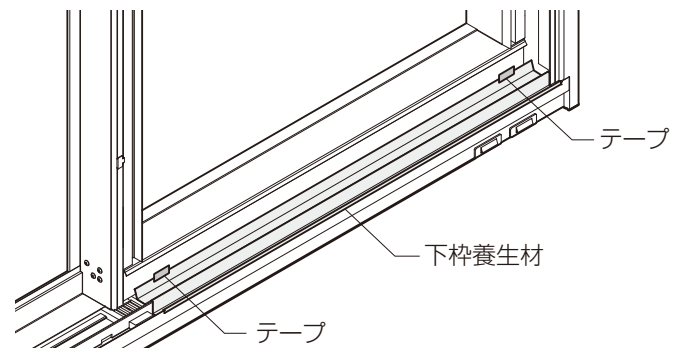


2 方立側の固定

- ①下枠に、下枠養生材をテープ止めしてください。
※中央の気密ピースのヒレにテープをかけないでください。



3 端部の固定

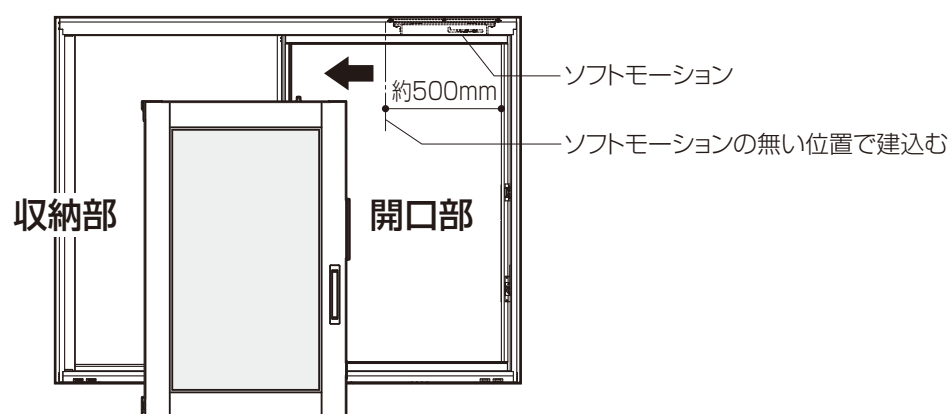


4 障子の建込み・開閉確認

- 下枠養生材取付け後、工事期間中の障子開閉と施開錠が可能であることを確認してください。
※施工完了後に下枠養生材を外してサッシの最終調整をしてください。

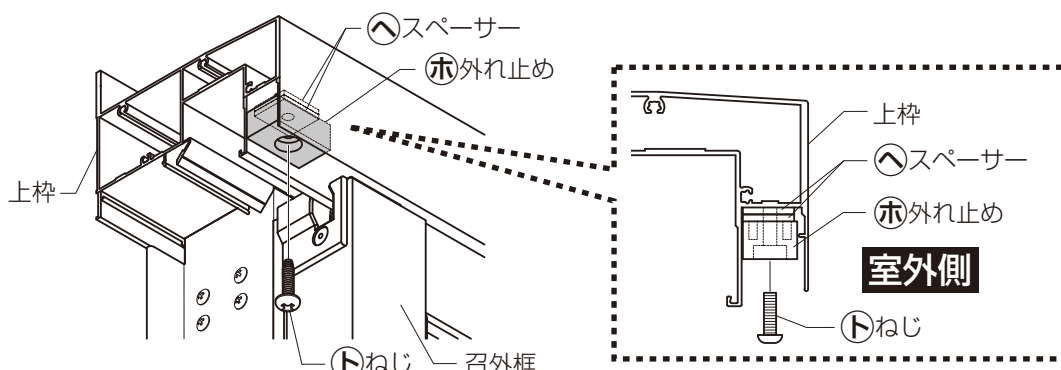
3 障子の建込み

- 障子を建込む際は、上枠のソフトモーションが無い位置で建込んでください。



4 外れ止めの取付け

- 障子を建込み後、一度障子を閉めた状態で上枠に外れ止めを取付けてください。
戸車調整などにより、外れ止めと障子が干渉する場合は、スペーサーを抜いて障子の開閉ができるよう高さを調整してください。
※召外框の室内側に付いているねじは使用しないでください。外壁施工後に障子を外せなくなります。

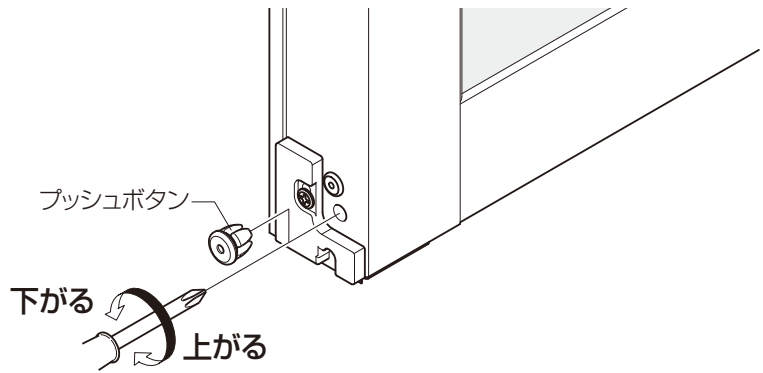


障子の建付け調整

1 戸車調整

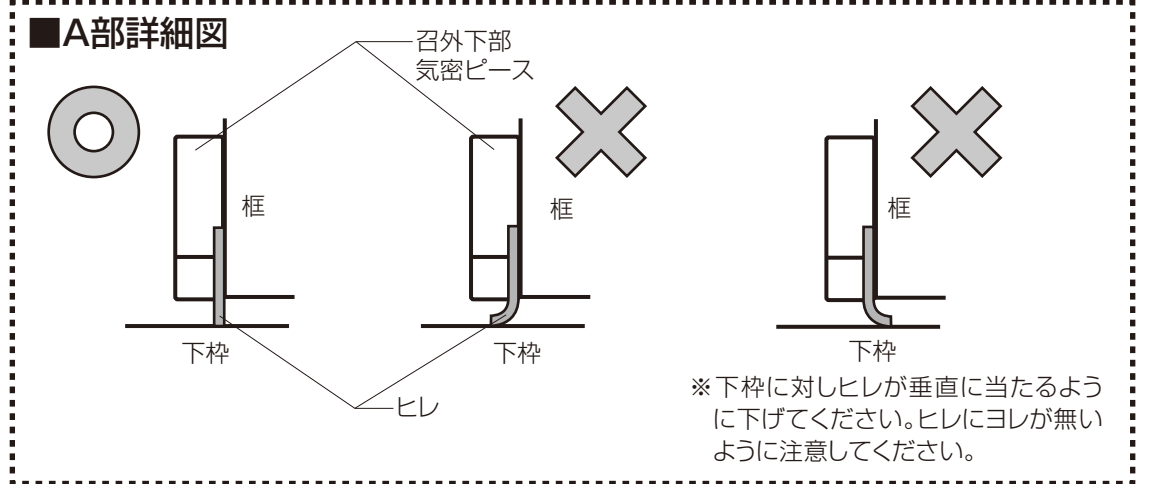
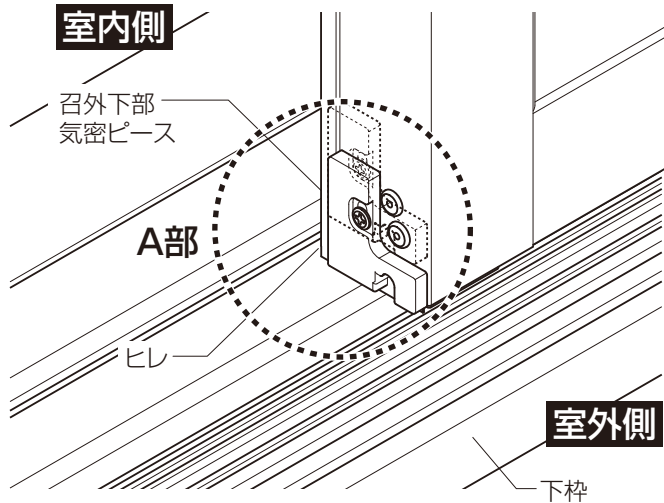
- プッシュボタンをいったん外して調整します。
(調整後は、プッシュボタンを押込んでください。)

※出荷時、障子は下がった状態にしています。それ以上は下がりませんので、
上げたい場合のみ戸車調整してください。



2 下部気密ピースの調整

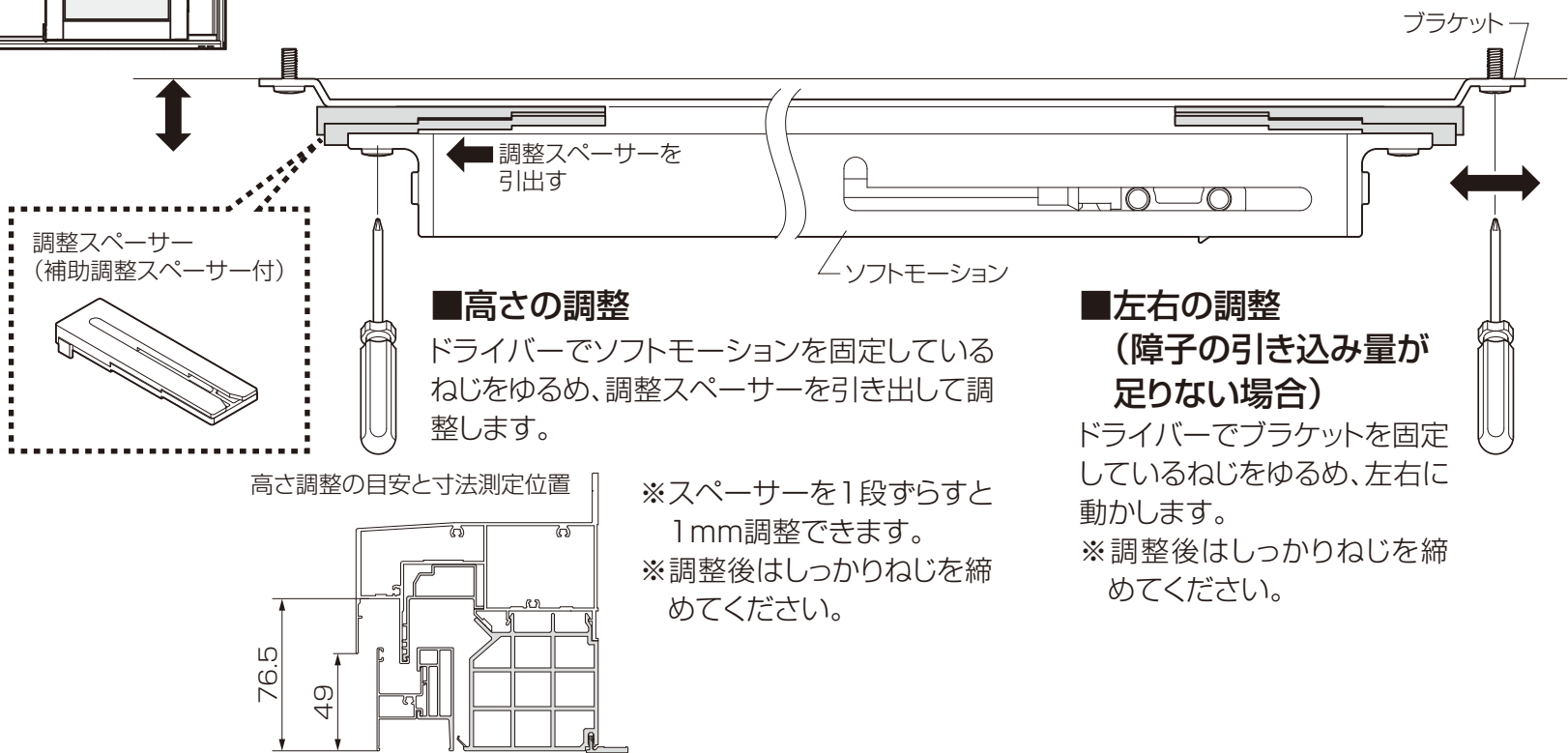
- 障子の収納側框下部にはヒレの付いた部品(召外下部気密ピース)が付いていますので、障子建込み後下枠にヒレが当るように部品を下げてください。
- 施工後引渡し前に障子の建付け調整を行う場合も、あらためてレールの清掃を行い召外下部気密ピースのヒレが下枠に垂直に当るように調整をしてください。



3 ソフトモーションの調整



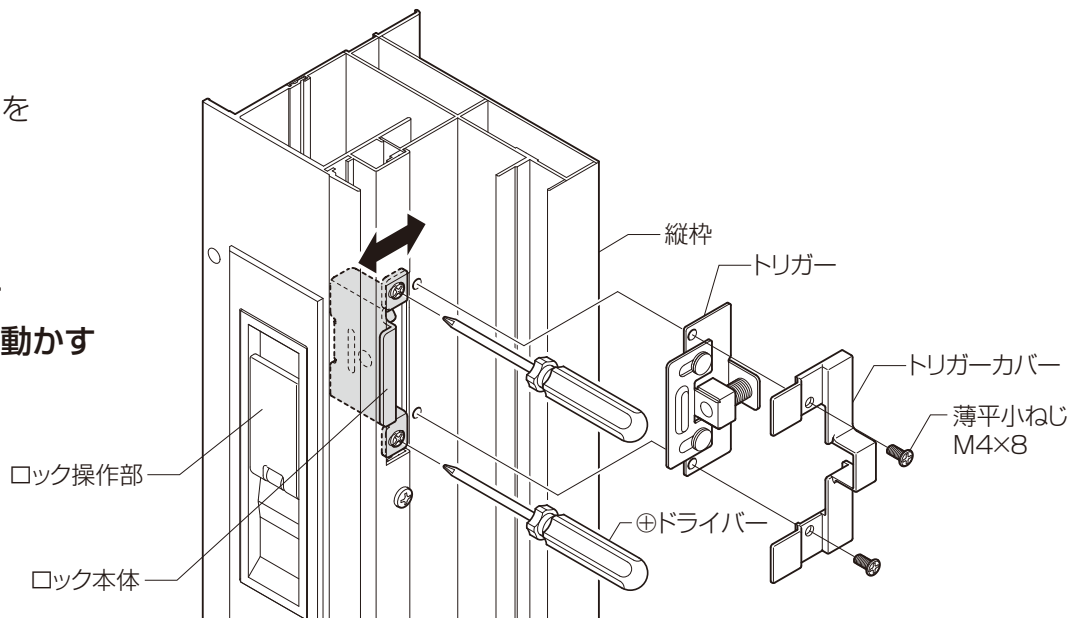
障子をゆっくり閉めて、ソフトモーションが作動するか確認してください。
障子が閉まり切らない場合やソフトモーションが効かない場合は、下図の高さ調整を行ってください。
※調整後、必ず再度障子を開閉しソフトモーションが作動するか確認してください。



4 戸先錠の調整

- ① トリガーおよびトリガーカバーを外します。
- ② ロック本体を固定しているねじをプラスドライバーでゆるめロック本体を左右に動かします。
※調整後はしっかりねじを締めてください。
- ③ トリガーおよびトリガーカバーを再度ねじで固定します。

ロックがかかり難い場合…………… ロック操作部側に動かす
障子を閉めてもガタつく場合 …… ロック操作部と反対側に動かす



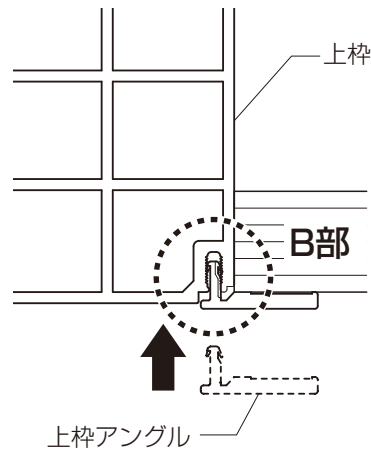
■上下枠アングルの取付け

■上下枠アングルの取付け

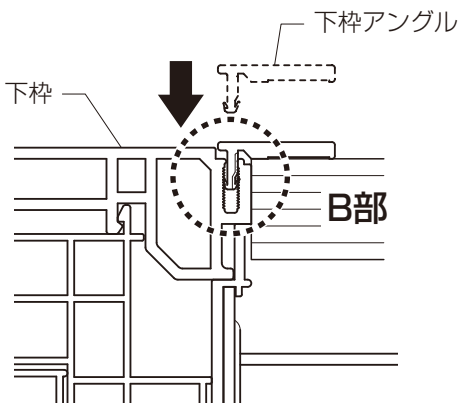
※上下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。

※上下枠アングルの床、天井の高さ違いの対応範囲は、下枠アングルの場合上に3mm、下に1mm、上枠アングルの場合下に3mm、上に1mmです。それ以上は対応できません。なお、調整により縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。

●上枠

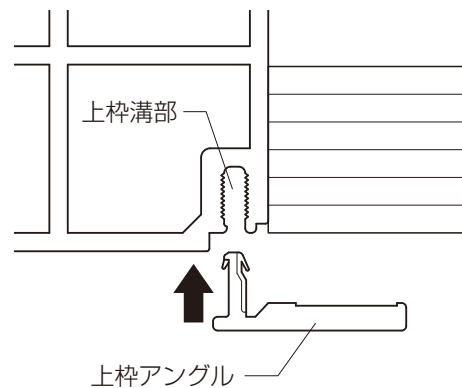


●下枠

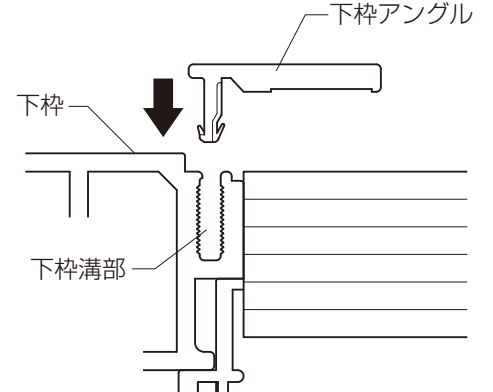


■B部詳細図

●上枠



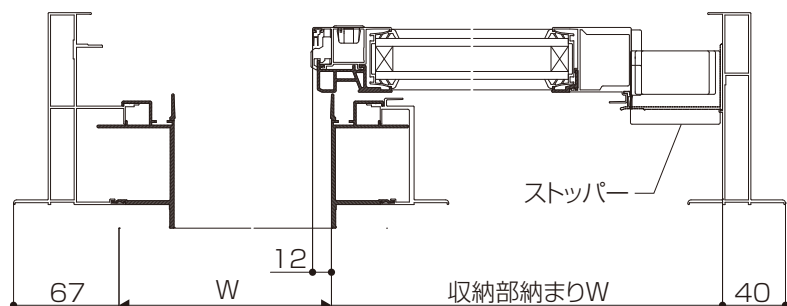
●下枠



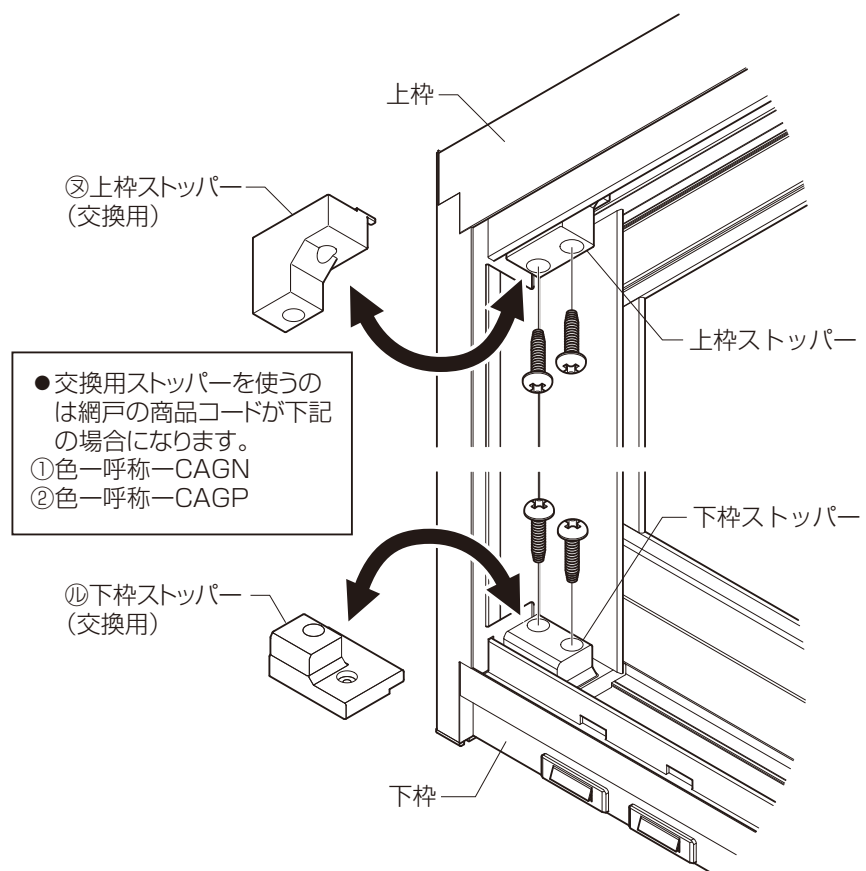
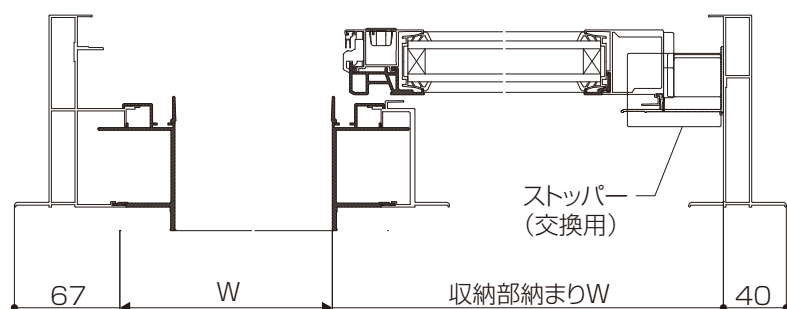
■交換用ストッパーの使用について(フルオープンタイプのみ)

- フルオープンタイプは、障子を開けた際、引残しが12mmある設定です。引残し無しでご使用の場合は、上下枠ストッパーを交換してください。
- 引残し有と引残し無では、網戸の商品コードで見分けができます。
- 引残し無しの場合、全開する際、引残しがなくなるため指を挟むおそれがあるので、ご注意ください。

<引残し有>



<引残し無>

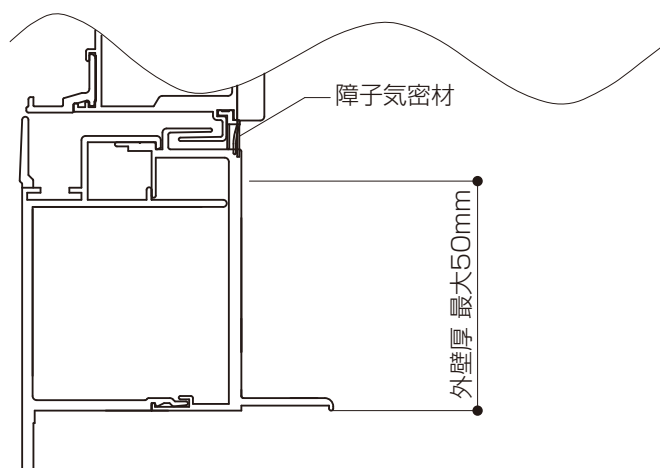


網戸の仕様が不明な場合は、網戸の取付け時まで保管をしてください。

■収納部外壁仕上げ

※枠の方立外側先端は障子の気密材が当たる位置ですので、シーリングの際にはマスキングテープなどを使用してシーリング材の付着を防止してください。

※収納部の外壁厚さは50mmまでとしてください。



■網戸アタッチメントの取付け

外壁施工完了後に取付けてください。

収納側縦枠にあらかじめ取付け用の穴があいています。穴位置を合わせて取付けてください。

